

「やあ、俺の西瓜だ、みんな畑へもどつて来い。みんなもどつて来い。」

と叫びましたが、西瓜はどん／＼ころがつて逃げ
て行つてしまひます。慾深三太郎は、西瓜を追駆
けて走りました。西瓜はどん／＼ころがつて行つ
て、慾深三太郎がどんなに走つても追付けませ
ん。

ころ／＼、ころ／＼。

ころ／＼、ころ／＼。

五十も、六十も、大きな西瓜がころがつて行く後
から、慾深三太郎が汗を一ばいかいて追駆けまし
た。西瓜はとう／＼海邊まで来てしまひました。
そしてどぶん、どぶんと海の中へ飛込みました。
西瓜がみんな飛込んでしまつた時、大きな波が、
ざぶんと言つて、其の西瓜をみんな沖の方へ持つ
て行つてしまひました。

星の子

千代子さんがお椽側に腰をかけて空を眺めてゐ
ました、すると急に黒い雲が向ふの方から走つて
来て早雨がバラ／＼降つて来ました、鳥がさあ大
變と慌てゝ飛んで行きます、千代子さんは、雨が
どん／＼降つて来た、鳥がいちよいて飛んで行く
あたしのあーかいちや、かしたげよか」と歌ひ

東洋幼稚園牛込分園長 久 門 嘉 祐

なが氣毒さうに空を見つめてゐました、其の中に
鳥も飛んで行てしまひ雨もちやんと止んで青空に
なり日が輝り出しました、そしてすぐ向ふに奇麗
な／＼虹が出ました、千代子さんは虹が出た／＼
とお手手をたゝいて喜びました、そして夢中にな
つて虹の方へどん／＼歩いて行きました幾ら歩い
ても幾ら歩いても虹の處へ行けないのですか

ら、すつかりくたぶれてしまひ道端の石に腰をか
けておつと虹を見つめて居りました、其の中にグ
ウ／＼いびきをかいてぐつすり寝込んでしまいま
した、するとそこへ奇麗な／＼お姫様がゐらして
千代子さんの脊中を撫てながら千代子さん、どう
したので、こんな所て寝てゐらしてお風でも引
くと大變です、さあ／＼お起きなさいと手をとつ
て起してくれました、千代子さんは漸く目を覺ま
しました、そしてお姫様に叮嚀にお辭儀をしてお
姫様ありがたうございます、お姫様私はあの虹の
橋を渡りたいのでございますが幾ら歩いても幾ら
歩いても虹の所へ行かれませぬ、もうすつかりく
たぶれて寝てしまつたのでございませぬとお話しし
ました、するとお姫様はそうですか、それならわけ
ないことです私が連れて行つてあげませう、さあ
／＼行きませうお手を引ひて下さつたかと思ふ
と二人のからだは宙にふわり／＼浮き上がりずん

／＼空の方へ上つて行きますやがて虹の橋につき
ました、するとお姫様はさあ千代子さん此所が虹
の橋です、下て見たよりは餘程奇麗でせう、ごゆ
つくり見物なさい、私は此所でお別れ致しますお
氣をつけてね、てはさよならと其のまゝお姫様は
ずん／＼空の方へ上つて行つてしました、千代子
さんは只もう嬉しくてたまりせんまよあかつた、
こんな所へ來ることが出來てまあきれいまあうれ
しいと大喜で赤だの青だの紫だの黄色だの橙色だ
の七色五色の虹の橋を渡つて行きます、丁度橋の
真中頃に來たときに橋の爛干にもたれてぼんやり
下を見て居る子供があります、千代子さんは早速
側によつて行つて、あなたはだれをして何そんな
にぼんやりしてゐらしやるのと聞いて上げました
すると、子供はハイ私は星の子供です、きのふの晩
は餘り好いお天氣であつたからお友達大勢でおん
もへ出てピカリ／＼光りくらをしたり飛んだり跳

ねたりそれはく面白く遊んでゐました餘り夢中でしたのでつい轉んでどたんとおつこちました幸に此の橋にひつかかつて命だけは助かりました、がついた時にはもう夜があけて私はもう光ることも出来ず又友達のお星も皆引つ込んでしまつたのですから何處へ歸つてよいのやら見當もつかずにぼんやりこゝに立つてゐました、そしてつい下をのぞいて見ますとなか／＼面白そうなので一つそ下へ下りて見物をしたくてたまらないんですがやつぱり書間なので私に光がないので下へ下りるところも出来ず困つてゐる所ですとさも困つたやうな顔をして申しました、千代子さんはまあそうですか危なかつたわねそれでもまあよかつたこと、そんなに下を見物したいのなら私が丁度もう下へ下りるところですから連れて行つて上げませう、さあ行きませうと星の子供のお手を引いて歩き出しました、ねー星の子さん虹の橋といふのは下か

らは度々見たけれども渡るのはこれが始めてよ随分奇麗ね、ほんとに私うれしいわ、それから下へ下ると富士の山だの海だの軍艦だの汽車だの飛行機だの動物園だのそれはく面白いですよと二人仲よさそうにお話をしながら虹の橋を渡つてしまふともうちやんと下へ下りて居ります、さあ星の子さん此所が下です向ふに見えるでせう雲の上に眞白な頭をつき出して扇のやうな形をしたのがあれが富士の山です日本一のお山です、てつべんの白いのはあれは雪です、夏でも雪が一ぱい積つてゐるのです、それから向ふに見える廣々した青々した丁度空のやうに見えるのが海です、あれが軍艦で戦争をするんです、あそこに長くつゞけて雲のやうな煙をはいて走つてゐるのが汽車です、そばで見ると随分ごう／＼と早いよ急行よ、それから此所は銀座よ賑やかでせう、それから此所は三越よはいつて見ませう、随分色々な物が奇麗

にならばあるでせう、さあこゝが東京驛です、電車にのつて上野へ行きませう、ぼーごうくく面白いてせう神田驛く上野行は乗換へ、さあ、あなた乗換よ、ぼーごうくく御徒町くぼーごうくく上野く、さあ下りるのよ、こゝが上野公園よ動物園へ行きませうこれが孔雀よ象よライオンよ河馬よ虎よ猿よ面白いてせう星の子供は何を見てもく珍らしい物ばかり面白いのね、星の子さんこればかりじゃないのよまだく色んな物があるのよ今晚一晚私の家へおとまりなさいね、あしたもう一日ゆつくり見物しませうよ、ね、ね、ごしようですから今晚とまつて下さいと申しました、星の子は私もう一日見物をしたのですがうちでお父さんとお母さんが心配しますからもうこれでお暇を致します、そうですかでもあなたのお家がおわかりですか、わかりますともく、そら、あそこにはきらく光つてるお星の

國なのです、そしてあつちの方に大きく光つてゐるのが私のお父さん星で其すぐ右の方に少し小さく光つてゐるのがお母さん星でございます、あれくお母さんが私を招いて居ります私は早く歸ります、でもあんな高に空へどうして獨で歸るのでですか、それは千代子さん私をぼんと上へ放り上げて下されば私は一飛にすつとお家へ歸りますどうぞ投り上げて下さいと申します、千代子さんは其の通りにして星の子をポーンと投り上げましたすると星の子は、すつと空に上つてお父さん星とお母さん星とのまん中へポコンとはいり下を向いてニコくしてゐます、千代子さんは上を向いて又ニコくしましたとさ。